YAMAHA

MusicCAST

バージョンアップマニュアル Vol.1

はじめに

バージョンアップとは 2
バージョンアップする 2

リコール再生

リコール再生とは 10
クライアント機をリコール先とする 10
サーバー機をリコール先とする 13

ブロードキャスト

ブロードキャストとは 14
ブロードキャストを開始する 15
ブロードキャストを停止する 16
対象クライアント機の設定を変更する 16
クライアント機をブロードキャストから外す 18
クライアント機をブロードキャストに
復帰・新規加入させる 18

ファンクションキー

ファンクションキーとは 19
ファンクションキーを設定する 20

MusicCAST 対応のヤマハ AV アンプ

ヤマハ AV アンプ用コントローラーの追加 25
操作可能なヤマハ AV アンプを確認する 25

はじめに

本書は、MusicCASTバージョンアップCD「MusicCAST Software Version Up Disc Vol.1」に関する情報を記載しています。新機能のご利用については、本書をよくお読みください。

バージョンアップとは

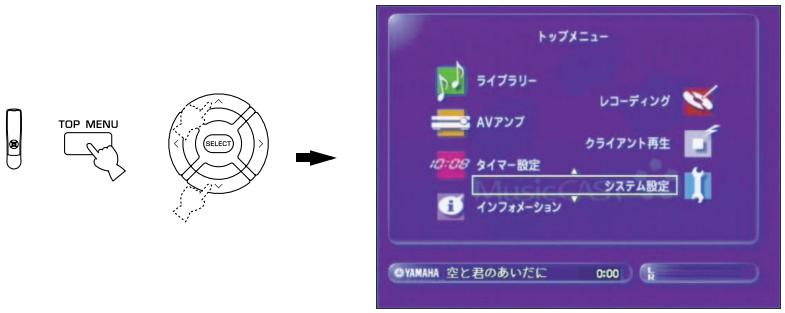
バージョンアップとは、従来の機能に新しい機能が追加されることです。バージョンアップVol.1を実施すると、以下の新機能がご利用できます。

リコール再生	他のサーバー機 / クライアント機で再生していた曲と再生設定を引きついで再生することができます (☞10 ページを参照)。
ブロードキャスト	サーバー機の再生内容を複数のクライアント機に一斉に配信する機能です (☞14 ページを参照)。
ファンクションキー	FUNC1/FUNC2/FUNC3 のファンクションキーへあらかじめ定められた機能を選択して割り当てることができます (☞19 ページを参照)。
ヤマハ AV アンプ用コントローラーの追加	サーバー機とヤマハ AV アンプを RS-232C ケーブル（クロスケーブル）で接続して、サーバー機から操作できるヤマハ AV アンプの対象モデルに DSP-Z9 が追加されました (☞25 ページを参照)。

バージョンアップする

▶ サーバー機のバージョンアップをするには

1 TOP MENUキーを押し、トップメニューを表示します。へ/∨キーで「システム設定」を選択します。



2 SELECTキーを押し、システム設定画面を表示します。へ/∨キーで「システムユーティリティ」を選択します。



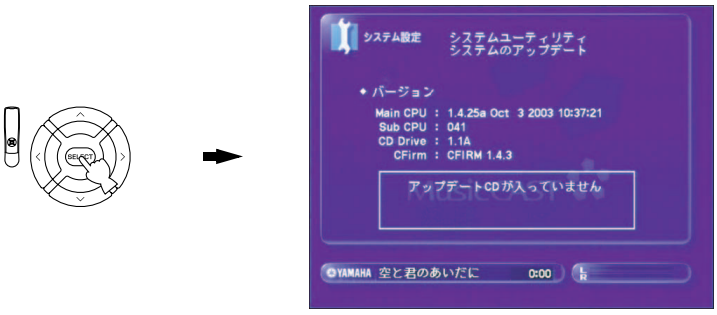
ご注意

- **▶ バージョンアップは、サーバー機とクライアント機が通信できる状態（☞ MusicCASTクイックマニュアル 13ページを参照）で行ってください。**
- ▶ バージョンアップは必ずサーバー機とすべてのクライアント機で行ってください。
- ▶ バージョンアップはすべてのクライアント機の再生を停止してから行ってください。
- ▶ バージョンアップ中に電源の切断などが起きると、ハードディスクにダメージを与える場合がありますので十分注意の上バージョンアップを行ってください（リカバリー方法 ☞7ページを参照）。

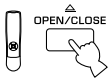
3 SELECTキーを押し、システムユーティリティ画面を表示します。∧/∨キーで「システムのアップデート」を選択します。



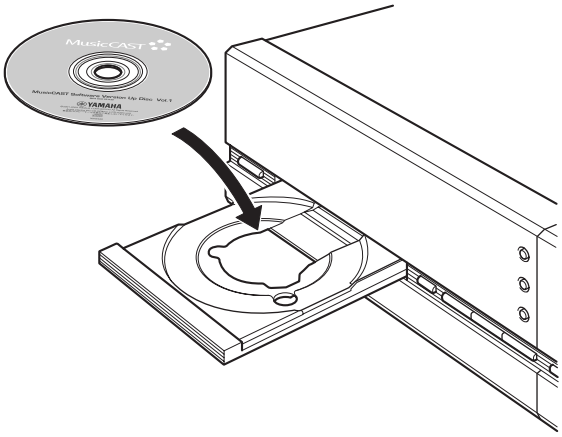
4 SELECTキーを押し、システムのアップデート画面を表示します。



5 OPEN/CLOSEキーを押します。
ディスクトレイが開きます。



6 バージョンアップCDを入れ、OPEN/CLOSEキーを押します。
ディスクトレイが閉じ、バージョンアップCDの情報を読み込みます。



CD の入れ方

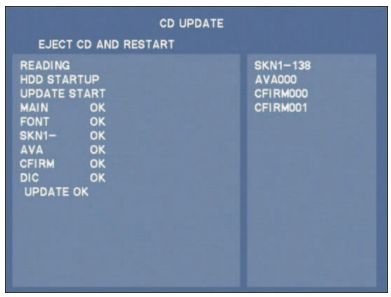
ディスクトレイの溝にあわせ、レーベル面を上にしてCDを置きます。

7 「アップデートの準備ができました」が表示されたら、SELECTキーを押します。

バージョンアップが開始されます。



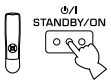
バージョンアップが終了すると、以下の画面が表示されます。



バージョンアップCDを取り出し、CDトレイを閉じます。

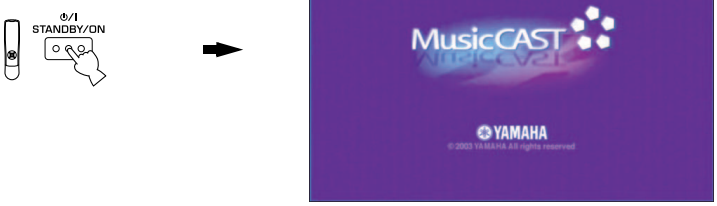
8 STANDBY/ONキーを押します。

スタンバイに切り替わります。



9 STANDBY/ONキーを再度押します。

サーバー機は新しいファームウェアで起動します。



これでサーバー機のバージョンアップが完了となります。
引き続きクライアント機のバージョンアップを行います。

ご注意

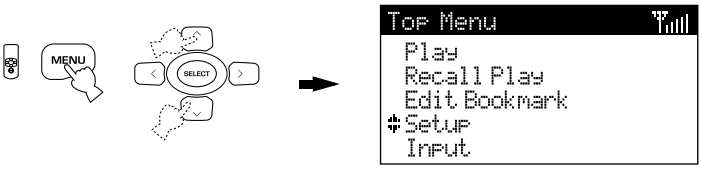
「アップデートの準備ができました」が表示されない場合は、バージョンアップCDを入れ直してください。
バージョンアップCDを入れ直しても「アップデートの準備ができました」が表示されない場合は、お客様ご相談センターにお問合せください。

バージョンアップの確認

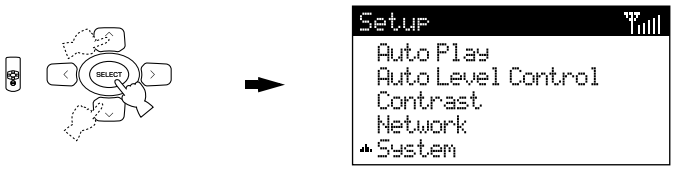
システムバージョン画面（☞MCX-1000取扱説明書203ページを参照）のMain CPUとCFirmが「2.0.x」になっていることをご確認ください。

▶ クライアント機のバージョンアップをするには

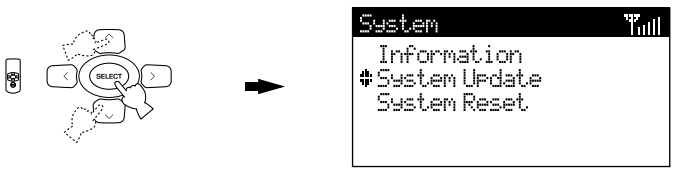
10 MENUキーを約2秒間押し、Top Menu画面を表示します。∧/∨キーで「Setup」を選択します。



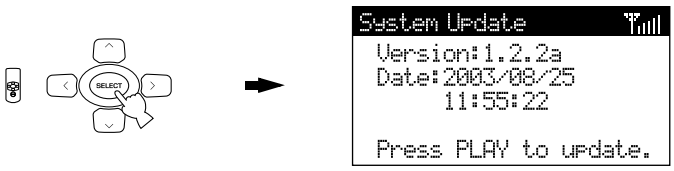
11 SELECTキーを押し、Setup画面を表示します。∧/∨キーで「System」を選択します。



12 SELECTキーを押し、System画面を表示します。∧/∨キーで「System Update」を選択します。



13 SELECTキーを押し、System Update画面を表示します。



クライアント機のバージョンアップ

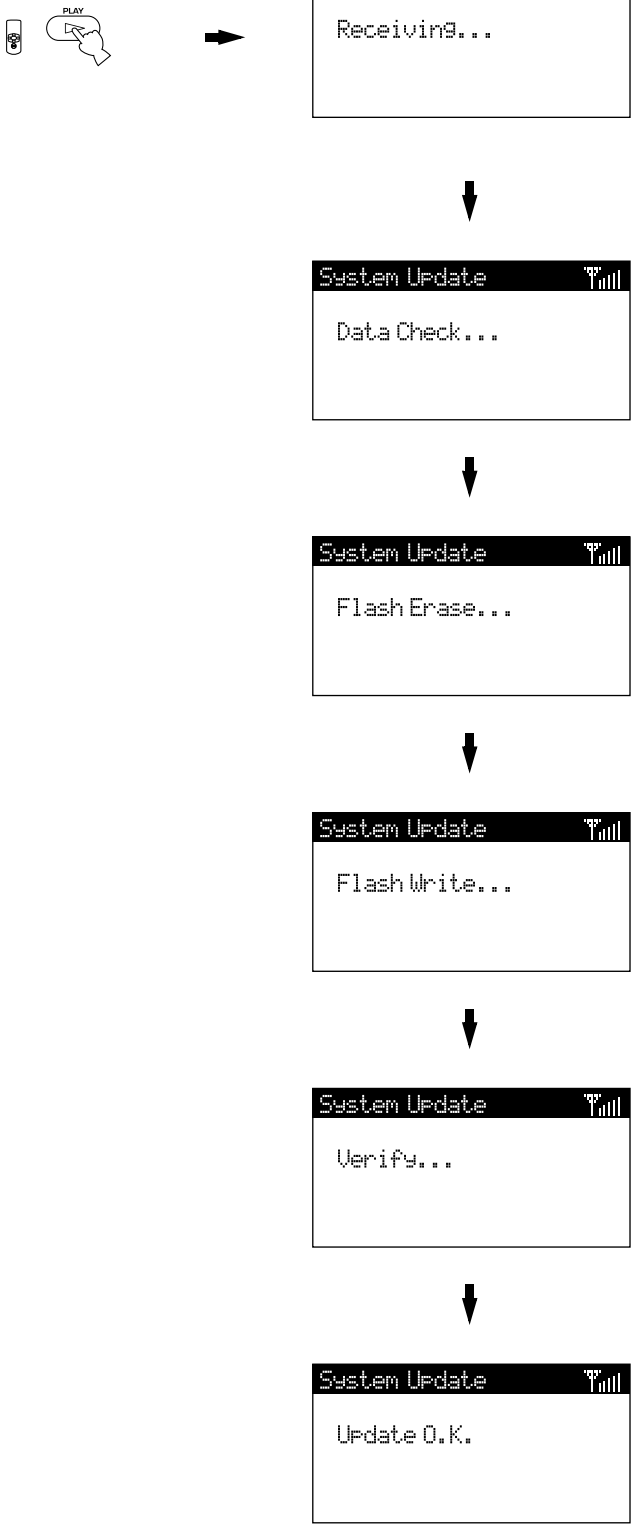
サーバー機のバージョンアップ終了後、すべてのクライアント機のバージョンアップを行ってください。

バージョンアップ前のバージョン番号について

左のバージョン番号の値は例です。実際に表示される番号とは異なります。

14 PLAYキーを押します。

バージョンアップが開始されます。



Update O.K.のメッセージが表示されたあと、自動的に再起動しTop Menu画面が表示されます。
これでクライアント機のバージョンアップが完了となります。

バージョンアップの確認

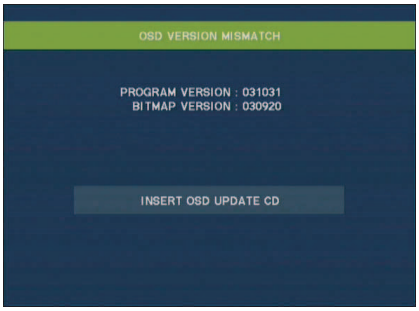
Information画面（☞ MCX-A10取扱説明書72ページを参照）のVersionが「2.0.x」になっていることをご確認ください。

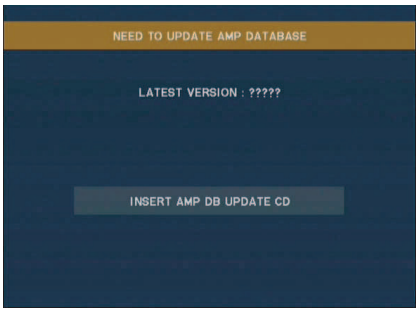
▶ サーバー機のリカバリーをするには

電源の切断などでバージョンアップが中断した場合は、サーバー機を起動し以下の操作をしてください。

ケース 1

「OSD VERSION MISMATCH」または「NEED TO UPDATE AMP DATABASE」の画面が表示された場合





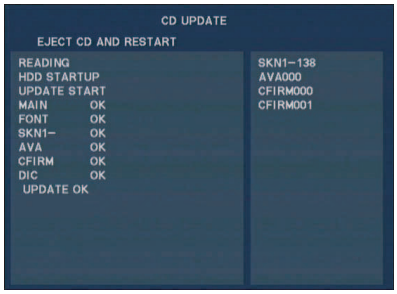
1 自動的にリカバリーが開始されます。

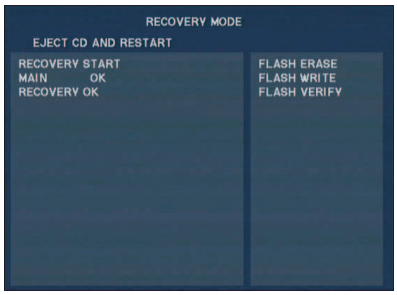


ご注意

リカバリーが完了するまでは、バージョンアップCDを取り出さないでください。

リカバリーが終了すると、「UPDATE_OK」または「RECOVERY_OK」の画面が表示されます。





2 STANDBY/ONキーを押します。

スタンバイに切り替わります。

3 STANDBY/ON キーを再度押します。

サーバー機は再起動します。

再起動後トップメニューが表示された場合はリカバリーが完了となります。また、再度リカバリーが自動的に開始された場合は、リカバリーの指示にしたがってください。リカバリー終了後にサーバー機を再起動してください。

ケース2

トップメニューが表示され正常に操作できる場合、また、画面に乱れた部分はあるが正常に操作できる場合

バージョンアップが完了していない可能性がありますので、再度バージョンアップを最初から行ってください(☞2ページを参照)。

ケース3

トップメニューが表示され正常に操作できない場合、また、正常に起動しない場合

お客様ご相談センターにお問合せください。

バージョンアップの確認

システムバージョン画面（☞MCX-1000取扱説明書203ページを参照）のMain CPUとCFirmが「2.0.x」になっていることをご確認ください。

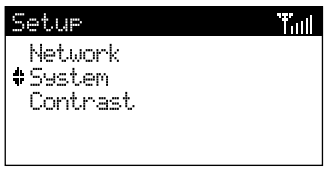
▶ クライアント機のリカバリーをするには

電源の切断などでバージョンアップが中断した場合は、クライアント機を起動し以下の操作をしてください。

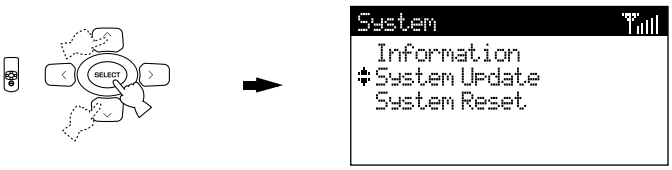
ケース1

通常の起動画面と異なり、以下の画面が表示された場合

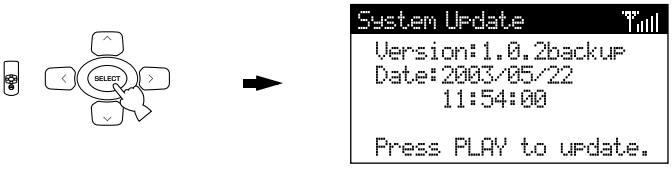
∧/∨キーで「System」を選択します。



1 SELECTキーを押し、System画面を表示します。∧/∨キーで「System Update」を選択します。

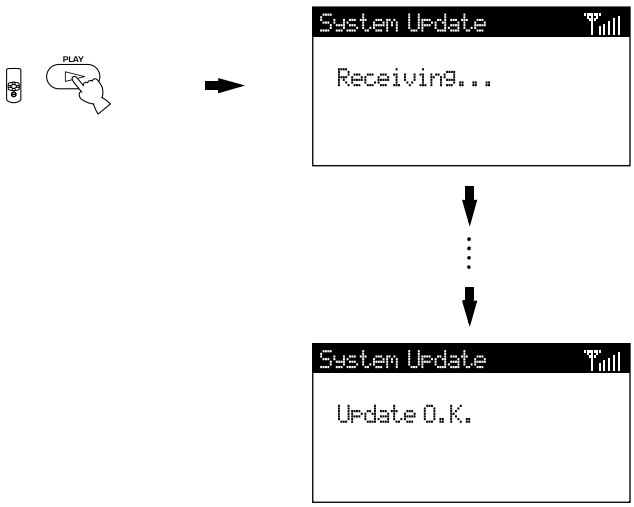


2 SELECTキーを押し、System Update画面を表示します。



3 PLAYキーを押し、再度バージョンアップを開始します。

バージョンアップが開始されます。



バージョンアップが終了すると、再起動しTop Menu画面が表示されます。

ケース2

Top Menu画面が表示され正常に操作できる場合

バージョンアップが完了していない可能性がありますので、再度クライアント機のバージョンアップを最初から行ってください(☞5ページを参照)。

ご注意

System Reset は行わないでください。

バージョンアップ番号について

左のバージョン番号の値は例です。実際に表示される番号とは異なります。

バージョンアップの確認

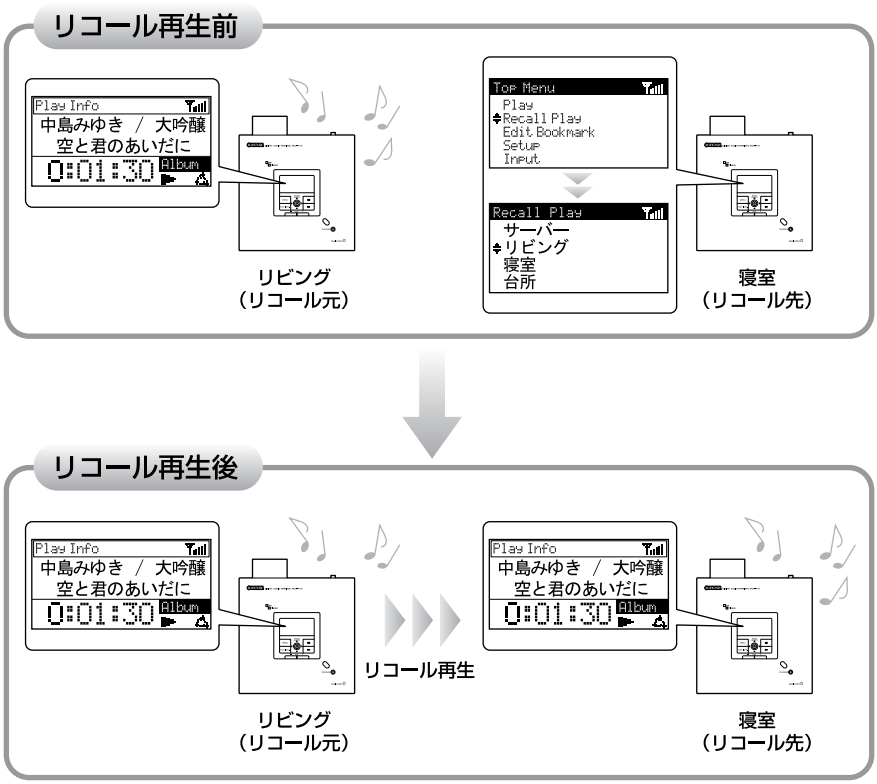
Information画面（☞ MCX-A10取扱説明書72ページを参照）のVersionが「2.0.x」になっていることをご確認ください。バージョンアップがされていない場合は、再度バージョンアップを最初から行ってください（5ページを参照）。

リコール再生

リコール再生とは

リコール再生とは、サーバー機/ クライアント機で再生している曲と再生設定を他のサーバー機/ クライアント機で呼び出して、曲を引き続き再生できるモードです。同じMusicCASTシステム内であれば、サーバー機、クライアント機に関係なくリコール元として指定できます。

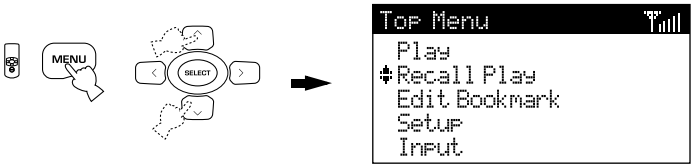
例: リビングで再生していた曲を引き続き寝室で再生したい場合



クライアント機をリコール先とする

▶ リコール再生するには（クライアント機を操作）

1 MENUキーを約2秒間押し、Top Menu画面を表示します。∧/∨キーで「Recall Play」を選択します。



リコール元

リコール元とはリコール再生で、曲と再生設定を呼び出される機器です。

リコール先

リコール先とはリコール再生で、リコール元の曲を引き続き再生する機器です。

リコール再生

- ▶リコール元が停止中の場合は、リコール元が前回再生を停止した個所からリコール再生が開始されます。
- ▶リコール元で設定したランダム、リピート、ブロードキャストといった再生モードもリコール先に同じく設定されます。
- ▶リコール再生の開始後、リコール元で行った操作はリコール先に影響しません。

ご注意

サーバー機で外部入力からの録音曲、CD、MP3 CDを再生している場合、サーバー機を選択しても、リコール再生されません。

Recall Play 画面の表示について

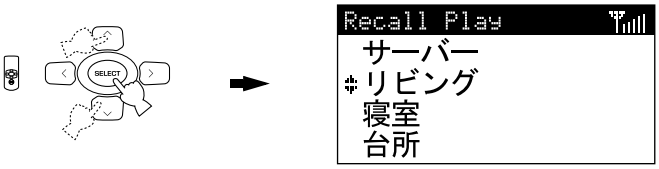
Recall Play画面で表示されるクライアント機の名前は、サーバー機のクライアント再生画面から編集することができます（☞MCX-1000取扱説明書145ページを参照）。

クライアント機のリモコンのRECALL キーからリコール再生する場合

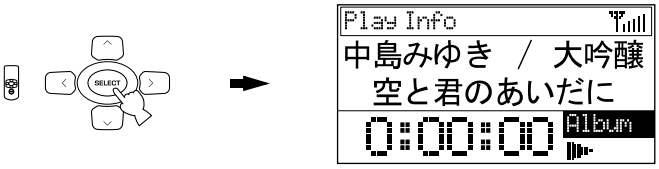
クライアント機のリモコンのRECALLキーを押しながら、以下のいずれかのキーを押します。

キー名称		リコール元
S	PLAY INFO.キー	サーバー
1	ON TIMERキー	クライアント1
2	REPEATキー	クライアント2
3	RANDOMキー	クライアント3
4	⏮キー	クライアント4
5	⏸ PAUSEキー	クライアント5
6	⏭キー	クライアント6
7	⏪キー	クライアント7

2 SELECTキーを押し、Recall Play画面を表示します。∧/∨キーでリコール元を選択します。

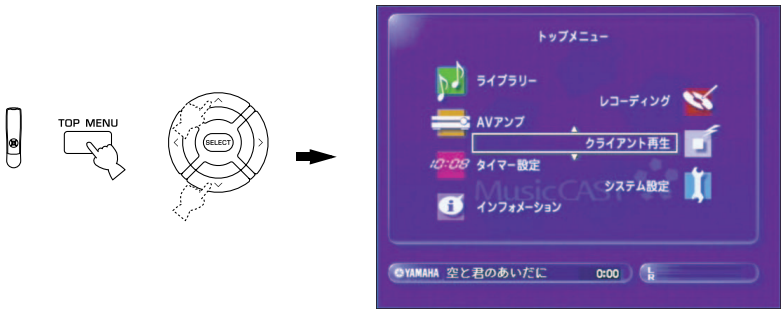


3 SELECTキーを押します。
リコール再生が開始されます。



▶ リコール再生するには（サーバー機を操作）

1 TOP MENUキーを押し、トップメニューを表示します。∧/∨キーで「クライアント再生」を選択します。



2 SELECTキーを押し、クライアント再生画面を表示します。∧/∨キーでリコール先とするクライアント機を選択します。



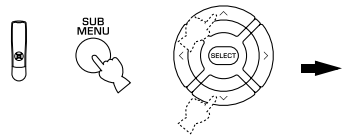
ご注意

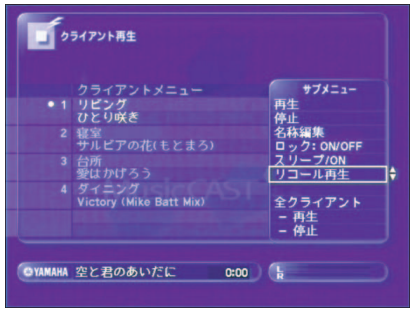
リコール元としてサーバー機に登録されていないクライアント機や、電源がオンになっていないクライアント機を選択しても、リコール再生は開始されません。

操作を中止する場合

操作を中止するときは<キーを押してください。Top Menu画面に戻ります。

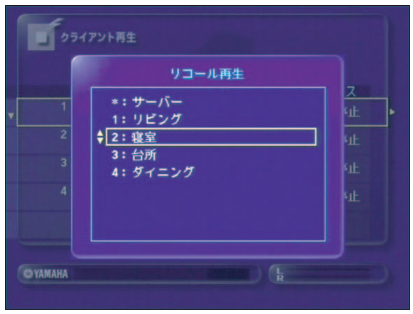
3 SUB MENUキーを押し、サブメニューを表示します。∧/∨キーで「リコール再生」を選択します。





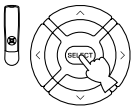
4 SELECTキーを押し、リコール再生メニューを表示します。∧/∨キーでリコール元を選択します。

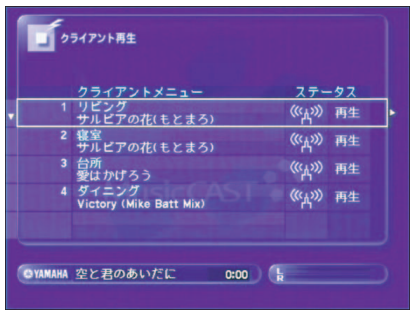




5 SELECTキーを押します。

リコール再生が開始されます。



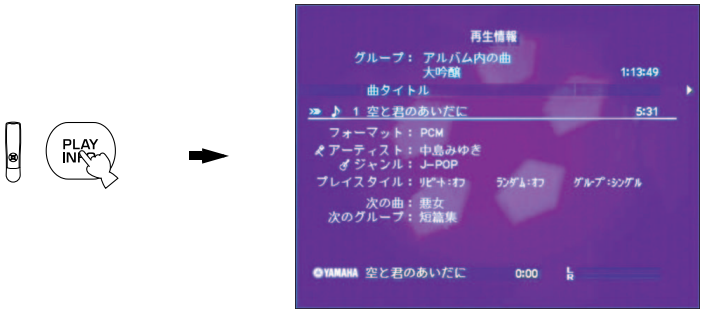


操作を中止する場合

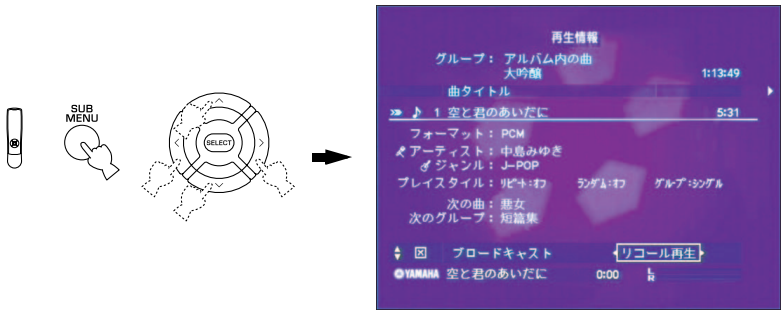
操作を中止するときはBACKキーを押してください。クライアント再生画面に戻ります。

サーバー機をリコール先とする

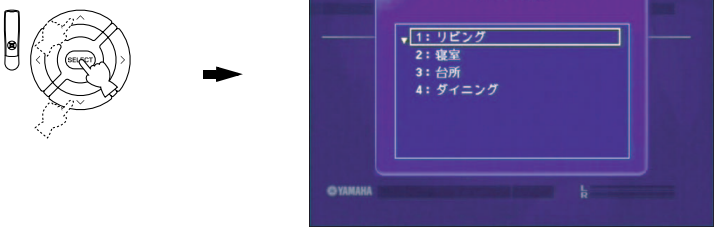
1 PLAY INFO.キーを押し、再生情報画面を表示します。



2 SUB MENUキーを押し、サブメニューを表示します。∧/</∨/>キーで「リコール再生」を選択します。

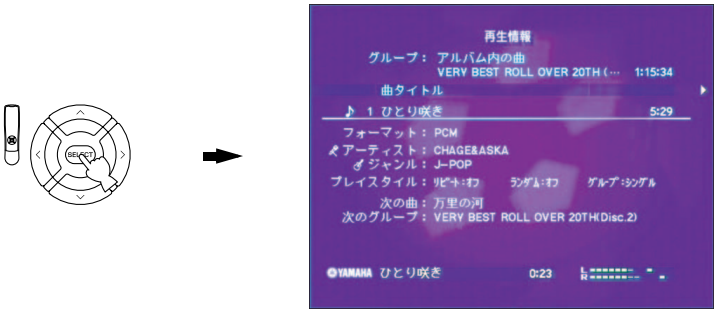


3 SELECTキーを押し、リコール再生メニューを表示します。∧/∨キーでリコール元を選択します。



4 SELECTキーを押します。

リコール再生が開始されます。



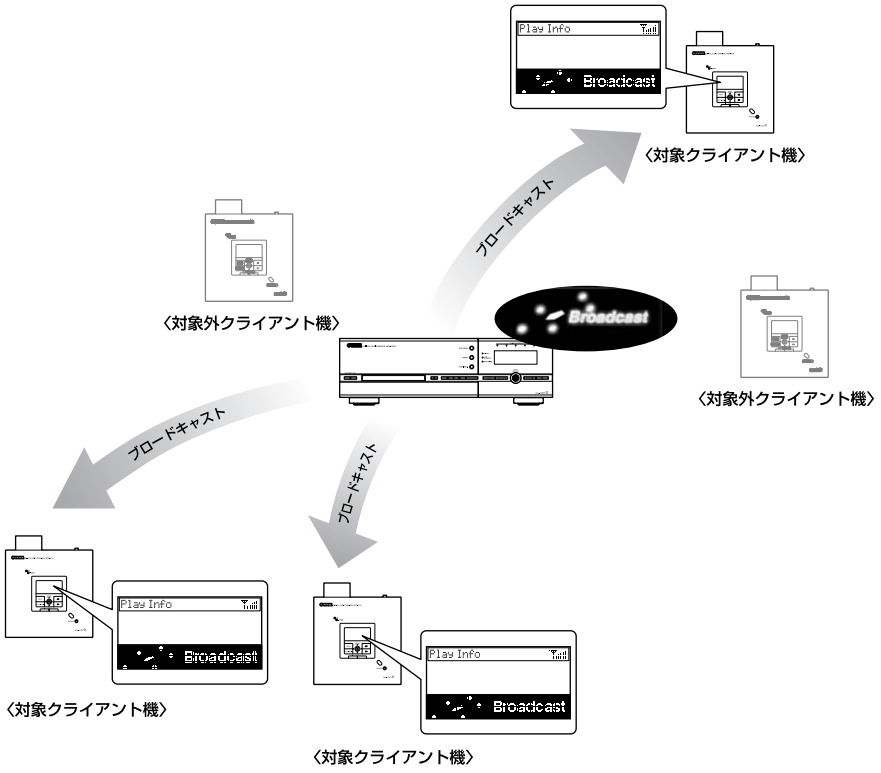
操作を中止する場合

操作を中止するときはBACKキーを押してください 。再生情報画面に戻ります。

ブロードキャスト

ブロードキャストとは

ブロードキャストとは、サーバー機で再生する曲を複数のクライアント機に一斉に配信する機能です。ブロードキャストにすると、サーバー機 / クライアント機の画面にブロードキャストアイコンが表示されます。ブロードキャストの対象クライアント機は自由に選択することができます。

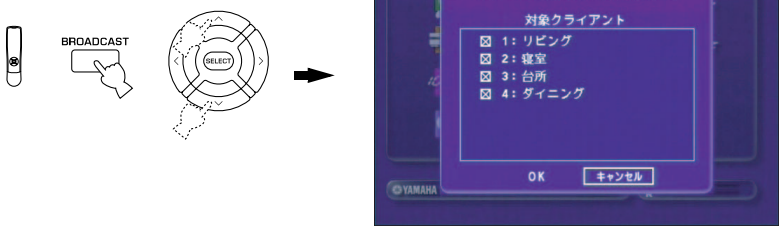


ご注意

- ▶レコーディング、タイマー設定、システム設定、編集関連の画面からブロードキャストは開始できません。
- ▶各機器間の再生タイミングのズレはおおむね0.2秒以下となります。
- ▶ブロードキャストの対象クライアント機が1台も設定されていない場合は、ブロードキャストは動作しません。

ブロードキャストを開始する

1 サーバー機のリモコンのBROADCASTキーを押し、ブロードキャスト確認画面を表示します。∧/∨キーで設定を変更したい対象クライアント機を選択します。



2 SELECTキーを押します。

チェックボックスにチェックマークが表示されているクライアント機が、ブロードキャストの対象になります。SELECTキーを繰り返し押すと、チェックボックスのチェックマークの表示が切り替わります。



複数の対象クライアント機の設定を変更する場合は、この操作を繰り返し行ってください。

3 ∧/</∨/>キーで「OK」を選択し、SELECTキーを押します。

ブロードキャストが開始されます。

サーバー機

ブロードキャストアイコン



クライアント機



サーバー機で曲の再生を、通常通り行ってください（☞MCX-1000取扱説明書36ページを参照）。

再生情報画面から開始する場合

再生情報画面のサブメニューからブロードキャスト確認画面を表示させることもできます。

対象クライアント機の設定

あらかじめブロードキャストの対象クライアント機を設定しておくことができます（☞16ページを参照）。

ご注意

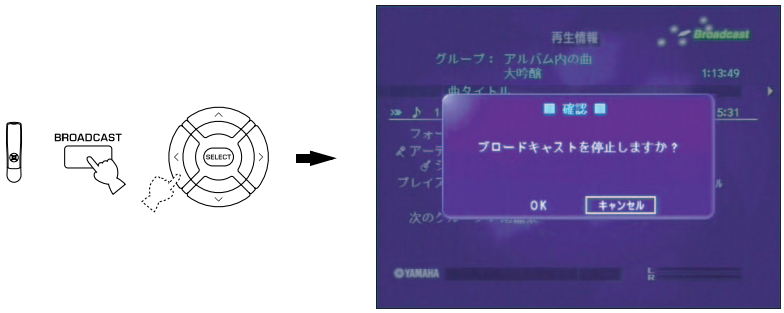
- ▶ブロードキャストモード中は、タイマー、システム設定、編集、録音ができません。
- ▶ブロードキャストを開始すると、サーバー機とクライアント機のタイマー機能がオフになります。また、ブロードキャストを停止しても自動的に元には戻りません。
- ▶ブロードキャスト中は、クライアント機の外部入力端子の再生はできません。ブロードキャスト終了後に、外部機器からの再生を行う場合には、外部機器を選択してください（☞ MCX-A10取扱説明書61ページを参照）。

操作を中止する場合

操作を中止するときはBACKキーを押してください。または、カーソルを「キャンセル」に合わせてSELECTキーを押してください。元の画面に戻ります。

ブロードキャストを停止する

1 サーバー機のリモコンのBROADCASTキーを押し、ブロードキャスト確認画面を表示します。くキーで「OK」を選択します。



2 SELECTキーを押します。
ブロードキャストが停止します。

再生情報画面から停止する場合

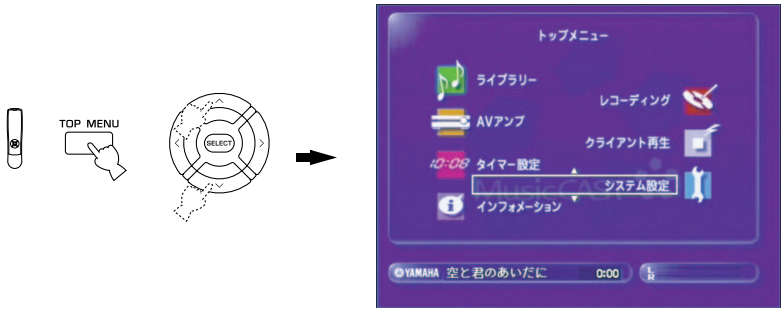
再生情報画面のサブメニューからブロードキャスト確認画面を表示させることもできます。

操作を中止する場合

カーソルを「キャンセル」に合わせてSELECTキーを押してください。元の画面に戻ります。

対象クライアント機の設定を変更する

1 TOP MENUキーを押し、トップメニューを表示します。へ/∨キーで「システム設定」を選択します。



2 SELECTキーを押し、システム設定画面を表示します。へ/∨キーで「クライアント」を選択します。



対象クライアント機の設定を変更する

ブロードキャスト確認画面で、設定した対象クライアント機が選択された状態で表示されます。

3 SELECTキーを押し、クライアント画面を表示します。∧/∨キーで「ブロードキャスト」を選択します。



4 SELECTキーを押し、ブロードキャスト画面を表示します。∧/∨キーで設定を変更したい対象クライアント機の「配信する」を選択します。



5 SELECTキーを押します。

チェックボックスにチェックマークが表示されているクライアント機が、ブロードキャストの対象になります。SELECTキーを繰り返し押すと、チェックボックスのチェックマークの表示が切り替わります。



複数の対象クライアント機の設定を変更する場合は、この操作を繰り返し行ってください。

6 ∧/</∨/>キーで「OK」を選択し、SELECTキーを押します。

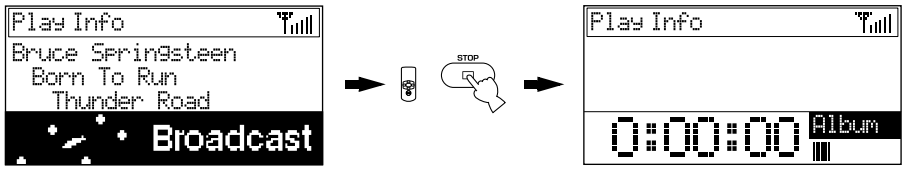
設定が保存されます。

操作を中止する場合

操作を中止するときはBACKキーを押してください。または、カーソルを「キャンセル」に合わせてSELECTキーを押してください。クライアント画面に戻ります。

クライアント機をブロードキャストから外す

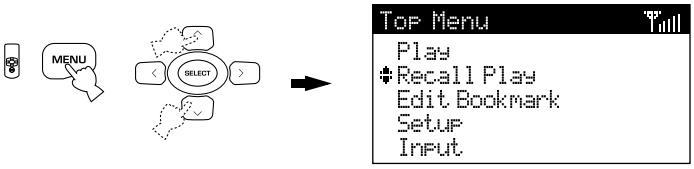
1 STOPキーを押します。
操作したクライアント機のみブロードキャストが中断されます。



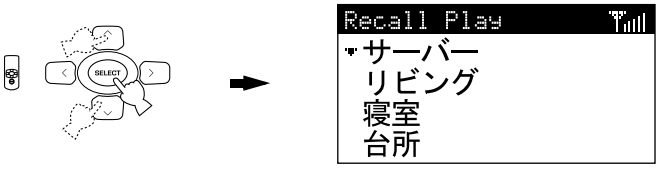
ブロードキャストを外す
ブロードキャストを外すと、再生情報画面に戻ります。

クライアント機をブロードキャストに復帰・新規加入させる

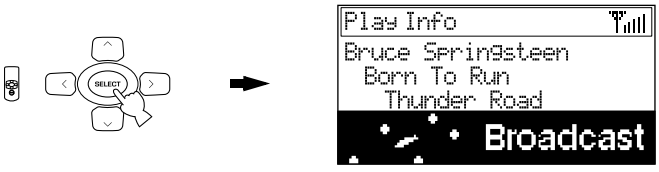
1 MENUキーを約2秒間押し、Top Menu画面を表示します。∧/∨キーで「Recall Play」を選択します。



2 SELECTキーを押し、Recall Play画面を表示します。∧/∨キーでブロードキャストで動作している機器（例：サーバー機）を選択します。



3 SELECTキーを押します。
操作したクライアント機のみブロードキャストに加入します。



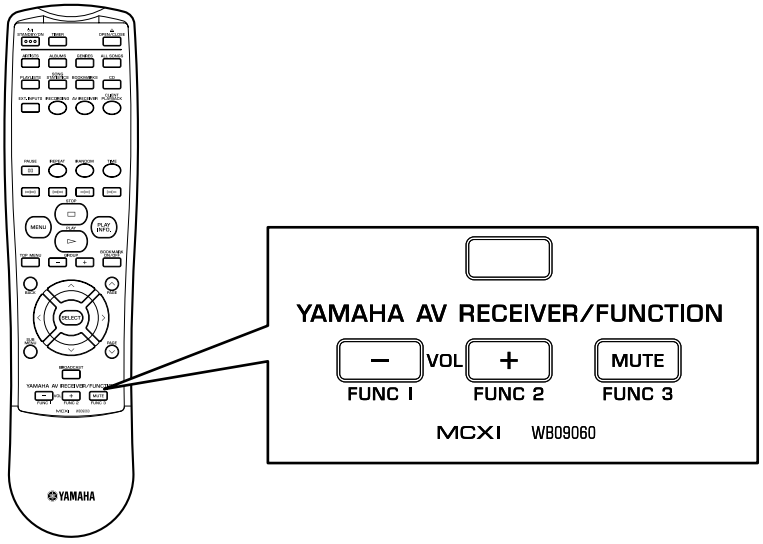
操作を中止する場合
操作を中止するときは<キーを押してください。Top Menu画面に戻ります。

ファンクションキー

ファンクションキーとは

サーバー機のリモコンのFUNC1 / FUNC2 / FUNC3キーをファンクションキーと呼びます。これらのキーに以下のいずれかの機能を割り当て操作を簡単にすることができます。

機　能	説　明
AV アンプ：VOL －（FUNC1 の初期設定）	サーバー機と RS-232C ケーブル（クロスケーブル）で接続された AV アンプの音量を小さくします。
AV アンプ：VOL ＋（FUNC2 の初期設定）	サーバー機と RS-232C ケーブル（クロスケーブル）で接続された AV アンプの音量を大きくします。
AV アンプ：MUTE（FUNC3 の初期設定）	サーバー機と RS-232C ケーブル（クロスケーブル）で接続された AV アンプの出力音を消します。もう一度押すと消音を解除します。
直接再生：（登録した再生内容を再生）	直接再生を割り当てたファンクションキーに再生グループを登録し、キーを押すだけで再生を開始します。
プレイスタイル：グループ再生モードの切替	グループ再生方法を切り替えます（☞MCX-1000 取扱説明書 58 ページを参照）。
全クライアント：スリープ	全クライアントをスリープに切り替えます。
全クライアント：再生	全クライアントで再生を開始します。
全クライアント：停止	全クライアントで再生を停止します。
クライアント：タイマー ON	サーバー機のクライアント・タイマー機能を有効にします。（☞MCX-1000 取扱説明書 156 ページを参照）。
クライアント：タイマー OFF	サーバー機のクライアント・タイマー機能を無効にします（☞MCX-1000 取扱説明書 156 ページを参照）。



ファンクションキーについて

リモコン上の「VOL ＋」、「VOL －」、「MUTE」はファンクションキーに初期設定として割り当てられた機能を表示しています。ファンクションキーに割り当てる機能は変更することができます。

操作確認画面について

「全クライアント：スリープ」、「全クライアント：再生」、「全クライアント：停止」をファンクションキーで操作する場合、操作確認画面が表示されます。「OK」を選択して、SELECTキーを押してください。

システム設定の初期化

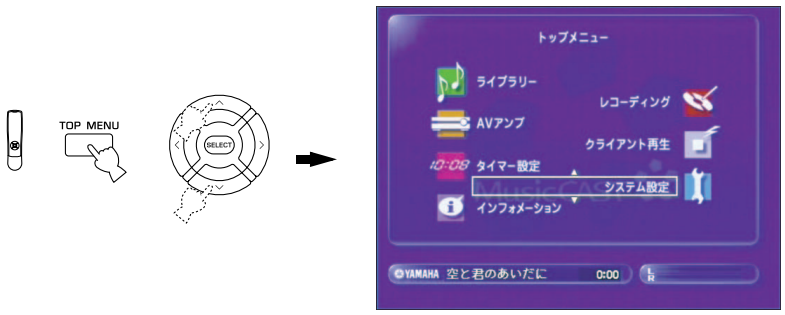
システム設定の初期化を行うと、ファンクションキーに割り当てた機能はファンクションキーの初期設定に戻ります（☞MCX-1000取扱説明書198ページを参照）。

直接再生に登録できる再生グループ

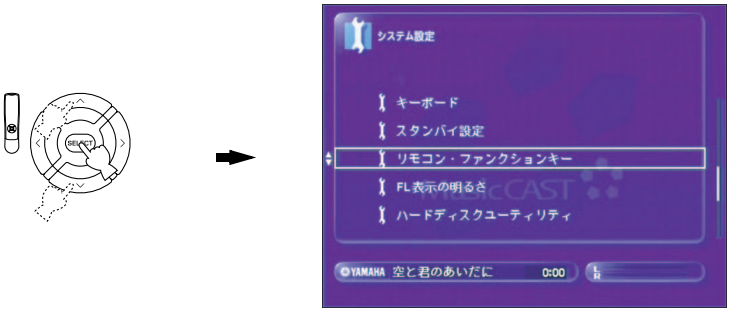
アーティスト、アルバム、ジャンル、全曲、プレイリスト、曲統計（再生回数順、最近再生した曲）、ブックマーク、CD、外部入力の再生が登録できます。

ファンクションキーを設定する

1 TOP MENUキーを押し、トップメニューを表示します。∧/∨キーで「システム設定」を選択します。



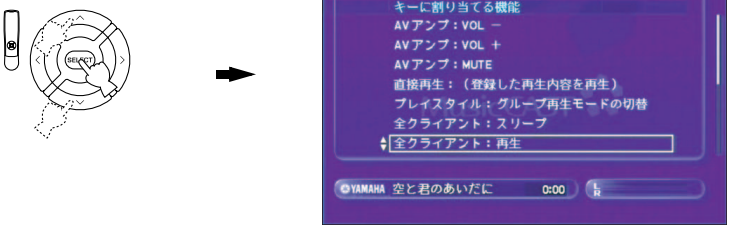
2 SELECTキーを押し、システム設定画面を表示します。∧/∨キーで「リモコン・ファンクションキー」を選択します。



3 SELECTキーを押し、リモコン・ファンクションキー画面を表示します。∧/∨キーで設定を変更するファンクションキーを選択します。

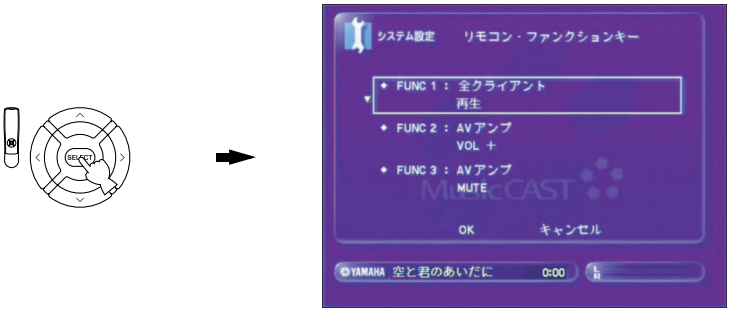


4 SELECTキーを押し、ファンクションキーの機能一覧画面を表示します。∧/∨キーでファンクションキーに割り当てる機能を選択します。



5 SELECTキーを押します。

ファンクションキーに機能が割り当てられます。



「直接再生」、「クライアント：タイマー ON」、「クライアント：タイマー OFF」機能を割り当てた場合は、以下の操作も行ってください。

「直接再生」の場合

確認画面の内容を確認し、SELECTキーを押します。

「クライアント：タイマー ON」の場合

23ページを参照して対象クライアント機を選択します。

「クライアント：タイマー OFF」の場合

24ページを参照して対象クライアント機を選択します。

6 ∨キーで「OK」を選択し、SELECTキーを押します。

設定が保存されます。

7 直接再生機能を割り当てた場合は、22ページを参照して再生グループを登録します。

操作を中止する場合

操作を中止するときはBACKキーを押してください。または、カーソルを「キャンセル」に合わせてSELECTキーを押してください。システム設定画面に戻ります。

▶ 直接再生する再生グループを登録する

直接再生機能で再生を開始するグループを登録します。

1 ライブラリーより直接再生する内容を選択します。SUB MENUキーを押し、サブメニューを表示します。∧/∨キーで「直接再生キー設定」を選択します。



2 SELECTキーを押し、直接再生キーの設定画面を表示します。∧/∨キーで内容を登録するファンクションキーを選択します。



3 SELECTキーを押し、ファンクションキーに再生内容を登録します。∧/</∨/>キーで「OK」を選択します。



直接再生に登録できる再生グループ

アーティスト、アルバム、ジャンル、全曲、プレイリスト、曲統計（再生回数順、最近再生した曲）、ブックマーク、CD、外部入力の再生が登録できます。

サブメニューについて

ファンクションキーに直接再生機能を割り当てた場合、「直接再生キー設定」がサブメニューに表示されます。

ファンクションキーの選択について

直接再生機能を割り当てたファンクションキーが1つの場合は、ファンクションキーを選択する必要はありません。

4 SELECTキーを押します。
設定が保存されます。



▶ クライアント：タイマー ON機能の対象クライアント機を設定する

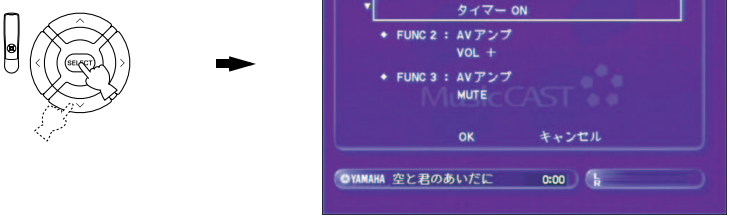
サーバー機のクライアント・タイマー ON機能（☞MCX-1000取扱説明書 156ページを参照）の対象クライアント機を設定します。

1 ∧/∨キーで設定を変更したい対象クライアント機の「ONにする」を選択し、SELECTキーを押します。
チェックボックスにチェックマークが表示されているクライアント機が、タイマー ONの対象になります。



複数の対象クライアント機の設定を変更する場合は、この操作を繰り返し行ってください。

2 ∨キーで「OK」を選択し、SELECTキーを押します。
対象クライアント機が登録されます。



直接再生の登録内容の確認

登録した再生内容には、F1/F2/F3のアイコンが表示されます。

登録の解除について

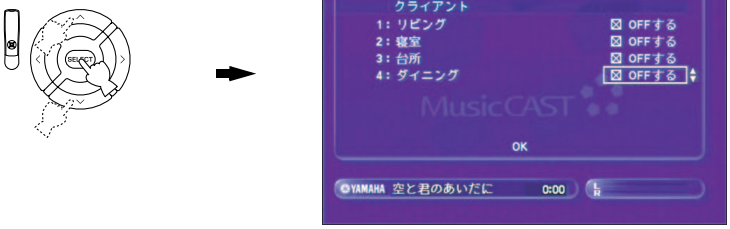
登録した再生内容を選択し、直接再生キーの設定画面を表示させます。∧/∨キーで「登録を解除する」を選択し、∧/</∨/>キーで「OK」を選択します。

▶ クライアント：タイマー OFF機能の対象クライアント機を設定する

サーバー機のクライアント・タイマー OFF機能（☞MCX-1000取扱説明書 156ページを参照）の対象クライアント機を設定します。

1 ∧/∨キーで設定を変更したい対象クライアント機の「OFFにする」を選択し、SELECTキーを押します。

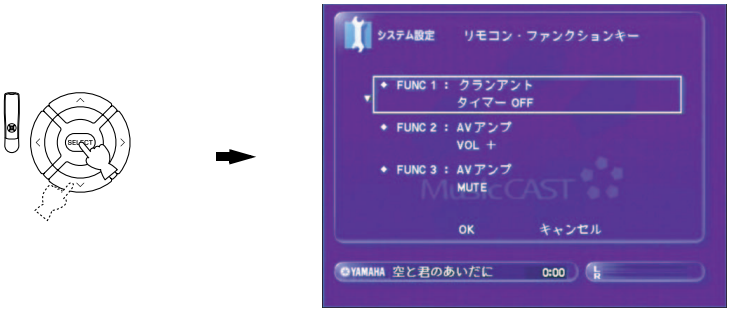
チェックボックスにチェックマークが表示されているクライアント機が、タイマー OFFの対象になります。



複数の対象クライアント機の設定を変更する場合は、この操作を繰り返し行ってください。

2 ∨キーで「OK」を選択し、SELECTキーを押します。

対象クライアント機が登録されます。



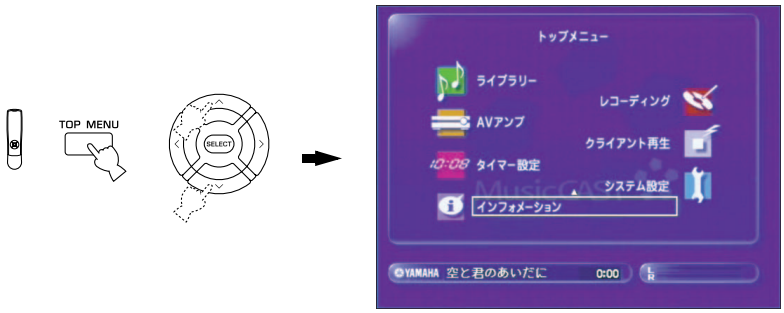
MusicCAST対応のヤマハAVアンプ

ヤマハAVアンプ用コントローラーの追加

RS-232Cケーブル（クロスケーブル）でサーバー機とヤマハAVアンプを接続すると、音量調整、入力切り替え、DSPプログラムの変更、ラジオチューナーなどの設定をサーバー機から操作できます。今回のバージョンアップでこの機能の対象モデルにDSP-Z9が追加されました。

操作可能なヤマハAVアンプを確認する

1 TOP MENUキーを押し、トップメニューを表示します。∧/∨キーで「インフォメーション」を選択します。



2 SELECTキーを押し、インフォメーション画面を表示します。∧/∨キーで「操作可能なヤマハAVアンプ」を選択します。



3 SELECTキーを押し、操作可能なヤマハAVアンプのリスト画面を表示します。



追加になったヤマハ AV アンプ



©2003 YAMAHA CORPORATION All Rights Reserved.

ヤマハ株式会社
Document version1.0